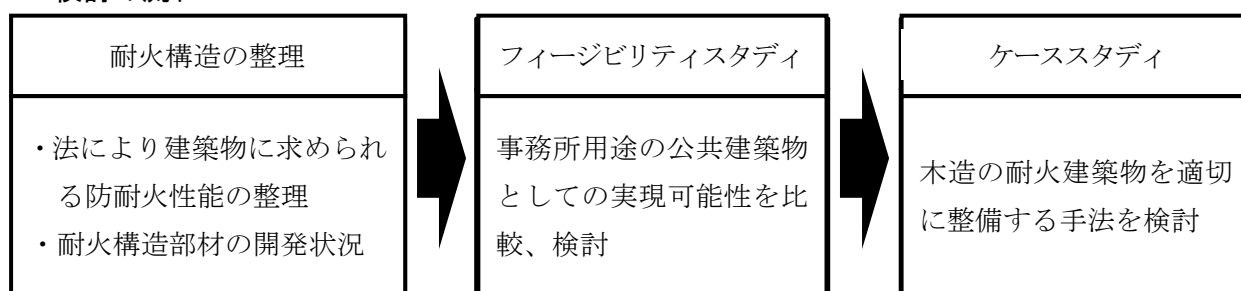


第5章 検討会の概要

5.1 検討事項

木造耐火建築物について、「高度な耐火・混構造の技術」、「木の良さを実感する機会を幅広く提供する公共建築物の役割」、「建築コストの低減」の観点から、フィージビリティスタディ（事務用途の公共建築物としての実現可能性を比較、検討）を行った上でケーススタディを行い、適切に設計等する手法を検討すること。

5.2 検討の流れ



5.3 検討体制

長谷見雄二氏（早稲田大学理工学術院 教授）を座長とする「官庁施設における木造耐火建築物の整備手法の検討会」※を設置した。

※官庁施設における木造耐火建築物の整備手法の検討会委員（五十音順）

座長

長谷見 雄二

早稲田大学理工学術院 教授

委員

稲山 正弘

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

腰原 幹雄

東京大学生産技術研究所 教授

杉本 洋文

東海大学工学部建築学科 教授

萩原 一郎

建築研究所防火研究グループ 上席研究員

安井 昇

早稲田大学理工学研究所 客員研究員

5.4 スケジュール

第1回検討委員会（平成23年10月5日）

検討の目的・背景、木材を利用した木造耐火建築物の法令及び技術的手法の整理、今後のスケジュール

第2回検討委員会（平成23年12月1日）

フィージビリティスタディの検討、ケーススタディの方向性の確認

第3回検討委員会（平成24年2月2日）

ケーススタディの検討、中間とりまとめの構成の検討

第4回検討委員会（平成24年3月12日）

ケーススタディの確認、中間とりまとめ（案）の確認

第5回検討委員会（平成24年9月10日）

ケーススタディの方向性の確認、指針の構成の検討

第6回検討委員会（平成24年12月13日）

ケーススタディの確認、整備指針（素案）の確認

第7回検討委員会（平成25年2月22日）

整備指針（案）の確認